

回 スピードの出しすぎは危険

臨港富士線の市役所前西側のこれまで未舗装部分約100mをさきごろ舗装しました。このため市役所東側の大月線信号機から伝法高島線までの300mは、見通しがよくついスピードが出てしまうかと思えます。しかし臨港富士線は、伝法高島線までしか工事を進めていませんので、あまりスピードを出して行くと田んぼに飛びこんでしまいます。現地には看板やサクで標示してありますが、この道路を利用するときは十分注意してください



回 にぎわった美術展
と写真展



回 無駄をなくそう…

じょうずな買い物の方法や毎日の生活の中で、主婦が気がついたことを話しあつて、無駄のない消費生活を——こんな趣旨で市では地区ごとに消費生活学習会を開いています。これまでに原田、岩松、鷹岡地区などで開きおおいに成果をあげています。

統計で知る 富士市

昨年の取扱い貨物量

⑩ は6,426,480トン

田子の浦港で昨年1年間に取扱った貨物は6,426,480トン。40年にくらべ約5倍の伸び率を示しています。このうち輸入が1,053,146トンで16.4%、輸出が8,638トンで0.1%、移出が3,090,958トンで35.4%、移入が2,273,738トンで48.1%。

品種別では、砂利・砂・石がもつとも多く2,163,440トンと全体の34%を占めています。ついで重油が1,292,623トン

で20%、セメントが624,832トンで9.7%、チップが621,200トンで9.7%、石油製品が485,621トンで7.4%、原木が305,277トンで4.8%の順になつています。

輸入貨物はチップ、原木、米・雑穀などで、輸出貨物は化学肥料、紙・パルプです。移入貨物は重油、セメント、石油製品などが主なもので、移出貨物はほとんどが砂利・砂・石で占めています。

